D01410201B

TASCAM MIXER

取扱説明書



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項を よくお読みください。

	警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定 される内容を示しています。					
電源プラグ をコンセン トから抜く	 万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 お買い上げの販売店またはティアック修理センター (巻末に記載)に修理をご依頼ください。 						
日 指示	電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。						
	電源コードを傷 電源コードの上に 電源コードを加コ コードが傷んだき 万一、電源コート (巻末に記載)に3	つけない こ重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない こしたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近付けて加熱したりしない まま使用すると火災・感電の原因となります。 が破損したら(芯線の露出、断線など)、お買い上げの販売店またはティアック修理センター を換をご依頼ください。					
	付属の電源コート 故障、火災、感電	※を他の機器に使用しない 電の原因となります。					
祭正	交流 100 ボルト J この機器を使用で いでください。a	以外の電圧で使用しない できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流 100 ボルト)以外の電圧で使用しな Eた、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。					
	この機器を設置す ラックなどに入れ 隙間を空けないと	「る場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して設置する れるときは、背面から10cm以上の隙間を空ける と内部に熱がこもり、火災の原因となります。					
	この機器の通風子 火災・感電の原因	しなどから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 団となります。					
	この機器の通風 通風孔をふさぐと	しをふさがない こ内部に熱がこもり、火災の原因となります。					
家正	機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。						
	この機器のカバー カバーを外す、 内部の点検・修理	-は絶対に外さない Eたは改造すると、火災・感電の原因となります。 理は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (巻末に記載)にご依頼ください。					
分解禁止	この機器を改造し 火災・感電の原因	_ない 団となります。					

\triangle	注 定 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容 および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。							
	移動させる場合は、電源のスイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。							
電源プラグ をコンセン トから抜く	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。							
	オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接 続する また、接続は指定のコードを使用する							
0	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴覚障害などの原因となることがあります。							
指示	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。							
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。							
\bigcirc	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。							
禁止	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。							
禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。							
注意	5年に1度は、機器内部の掃除をお買い上げの販売店またはティアック修理センター (巻末に記載)にご相談 ください。 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。							

安全にお使いいただくために	2
第1章 はじめに	5
本機の概要	5
本製品の構成	5
本書の表記	5
ユーザー登録について	5
商標および著作権に関して	5
設置上の注意	6
電源について	6
結露について	6
製品のお手入れ	6
アフターサービス	6
第2章 各部の名称と働き	7
フロントパネル - 1	7
フロントパネル -2	8
リアパネル	9
第3章 接続例	10
外部機器を接続する	10
第4章 ミキサー機能の概要	11
TASCAM MX-D CONNECT について	11
ミキサー機能の概要	11
入力コンプレッサー調節	11
入力イコライザー調節	12
出力イコライザー調節	13
ハウリングサプレッサー (H.SUP)	13
MATRIX(マトリクス)	14
アナウンスミューティング (A.MUTING)	14
ミュージックミューティング (M.MUTING)	14
ディレイ調節	14
OUT1・OUT2出力形式選択 (MONO/STEREO)	14
A / B バランス (OUTPUT1、2の各 A/B)	14
	14
出力コンノレッサー	15
	15
第5章 外部コントローラーの使用について	16
外部コントローラーについて	16
	16
コノトローフー本体の設定および接続	10
第6章 接続コネクターについて	11
REMOTE I/O 端子の接続	17
外部コントローフー端子の接続 (RS-485端子)	17
ユーロノロックノフクの接続について	17
第7章 トラブルシューティング/本体初期化設定	18
トラブルシューティング	18
本体初期化設定	18

4 TASCAM MX-D1606

第8章	仕様/定格	.19
アナ	+ログオーディオ入出力	19
デシ	ジタルオーディオ入出力	19
コン	ィトロール入出力	19
オー	-ディオ性能	19
設定	È用ソフトウェア OS 動作条件	19
一舟	д Х	19

第9章 寸法図/レベルダイヤグラム/ブロックダイ ヤグラム......20

<i>у у д</i>	
寸法図	20
レベルダイヤグラム	21
ブロックダイヤグラム	

このたびは、TASCAM DIGITAL MIXER MX-D1606をお買い上げいた だきまして、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取 り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますよ うお願い申し上げます。お読みになったあとは、本書をいつでも見 られる所に必ず保管してください。

また取扱説明書は、TASCAM のウェブサイトからダウンロードする ことができます。



MX-D1606

https://tascam.jp/int/product/mx-d1606/docs

本機の概要

- 12(8モノラル・4ステレオ)入力/4(2モノラル/ステレオ・2 モノラル)出力のアナログ音声入出力マトリクスが可能
- 60 mmフェーダーで各入出力レベルを直感的に制御
- 2 入力/ 2 出力の USB オーディオインターフェース機能を搭載
- 不快なハウリングを抑制するハウリングサプレッサーを搭載
- Ethernet、RS-485、REMOTE I/O による外部制御に対応、現場 に応じたシステム構築が可能
- アナウンスや BGM 送出に便利な自動ミューティング機能を搭載
- 設計/施工・メンテナンス用の Windows 対応ソフトウェア [TASCAM MX-D CONNECT](無償ダウンロード)
- 壁埋め込み型コントローラー [RC-W100](別売)に対応

本製品の構成

- + ++

本製品の構成は、以下の通りです。

開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と 梱包材は、後日輸送するときのために保管しておいてください。 付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、お買 い上げの販売店にお問い合わせください。

	●	X 1
•	・電源コード	x1
•	PSE 変換プラグ (3P-2P)	x1
•	ユーロブロックプラグ	x14
•	・ケーブルバンドキット	x1
•	ラックマウントビスキット	x1
•	取扱説明書 (本書、保証書付き)	x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- ●本機および外部機器のボタン/端子などを「POWER スイッチ」のように太字で表記します。
- ●必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載し ます。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、デー タが失われたりする可能性がある場合に記載します。

ユーザー登録について

TASCAM のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願 い致します。

https://tascam.jp/jp/login

商標および著作権に関して

- TASCAM およびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Media は、
 米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Mac、macOS、iOS、iPad、iPadOS および iTunes は、 米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。 iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の 商標または登録商標です。

ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくま で一例を示すものであり、これらに関します第三者の知的財産権、 およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示す ものではございません。従いまして、上記第三者の知的財産権の 侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につ きましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度~40度です。
- ◆次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

振動の多い場所 窓際などの直射日光が当たる場所 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所 極端に温度が低い場所 湿気の多い場所や風通しが悪い場所 ほこりの多い場所

- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでく ださい。
- ●本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。



電源について

- 付属の電源コードを AC IN 端子に奥までしっかりと差し込んで ください。
- AC 100 V(50-60 Hz) 以外の電源には、接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖め た直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。 結露したときは、約1~2時間放置してから電源を入れてお使いく ださい。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学ぞうきん、 ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面 を傷める、または色落ちさせる原因となります。

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付(巻末に記載)されています。大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無料修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
- ●保証期間は、お買い上げの日より1年です。保証期間中は、記載 内容によりティアック修理センター(巻末に記載)が無償修理致 します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(巻末に記載)にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグを コンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック 修理センター(巻末に記載)までご連絡ください。修理を依頼さ れる場合は、次の内容をお知らせください。 なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害(録 音内容などの補償)の責については、ご容赦ください。
 本機を使ったシステム内の記録メディアなどの記憶内容を消失 した場合の修復に関しては、補償を含めて当社は責任を負いか ねます。
 - 型名、型番 (MX-D1606)
 - 製造番号 (Serial No.)
 - 故障の症状(できるだけ詳しく)
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。
- ●本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

フロントパネル -1



POWER スイッチ

電源をオン/オフします。

- ② POWER インジケーター 電源がオンの時、このインジケーター(青色)が点灯します。
 - 本体ファームウェアのアップデート・初期化中は、点滅します。
- ③ マトリクスインジケーター (MONO INPUTS1~8)
 MONO INPUT1~8(⑩)の信号が、OUTPUT1~4(③)に
 出力されるとき、このインジケーター(橙色)が点灯します。
- ④ SIG / PEAK インジケーター (MONO INPUT1~8)
 MONO INPUT1~8(⑩)に、-30 dBFS 以上の信号が入力されると、対応するインジケーターが点灯します。
 入力信号のレベルがピーク値(-3 dBu 以上)に達すると、インジケーター(赤色)が点灯します。(*1)その場合、接続している機器の出力を下げるか、本機の入力フェーダー(⑮)を下げてお使いください。
- ⑤ マトリクスインジケーター (STEREO INPUTS1~4)
 STEREO INPUT1~4(20)の信号が、OUTPUT1~4(30)に 出力されるとき、このインジケーター(橙色)が点灯します。
- ⑥ SIG / PEAK インジケーター (STEREO INPUT 1 ~ 4)
 STEREO INPUT 1 ~ 4(20) に、-30 dBFS 以上の信号が入力されると、対応するインジケーターが点灯します。
 入力信号のレベルがピーク値(-3 dBu 以上)に達すると、インジケーター(赤色)が点灯します。(*1)その場合、接続している機器の出力を下げるか、本機の入力フェーダー(10)を下げてお使いください。
- ⑦ 出力レベルメーター(左側:OUT1、右側:OUT2)
 OUTPUT1、2(③)の出力信号をレベルで表示します。
 出力信号のレベルがピーク値(-3 dBu以上)に達すると、インジケーター(赤色)が点灯します。(*1)
 OUTPUT1、2(③)の出力フェーダー(⑧)を下げてお使いください。
- ⑧ SIG / PEAK インジケーター (左側: OUT3、右側: OUT4)
 OUTPUT3、4(③)の出力信号をレベルで表示します。
 出力信号のレベルがピーク値(-3 dBu 以上)に達すると、インジケーター(赤色)が点灯します。(*1)
 OUTPUT3、4(③)の出力ボリューム(⑪)を下げてお使いください。

⑨ LOCK スイッチ/インジケーター

フェーダー (15 ⑦ 18)、**MEMORY** スイッチ (13)の動作を無効 にするスイッチです。

- 先端が細い棒でLOCK スイッチを押すと、LOCK インジケーター(赤色)が点灯し、フェーダーや MEMORY スイッチ(③)による操作が無効になり、ロック状態となります。
 (TASCAM MX-D CONNECT を使用し、ロック中も操作可能なフェーダーを設定できます。)
- 再度 LOCK スイッチを押すと、LOCK インジケーターが消灯 し、フェーダーや MEMORY スイッチ(⑬)のロック状態が解 除され、操作が有効になります。
- ロックした位置より大きな音量位置でロック解除した場合、 ロック時の音量が保持されています。
 そのような場合は、一度、フェーダー(⑮ ⑰ ⑲)やボリューム
 (⑪ ⑲ ⑳)をロックした位置より下げてから、音量調整を行ってください。
- ⑩ 機器名称表示部

入力および出力機器の名称を表示する場所です。 ラベルテープなどで、下記の名称例を参考にシールを作成し、 表示部に貼り付けてご使用ください。 表示部のサイズは、幅18 mm ×高さ6 mm です。

- 出力レベル調節ボリューム(左側:OUT3、右側:OUT4)
 OUTPUT3、4(③)の出力レベルを調節します。
- 12 SIG / PEAK インジケーター (USB IN/OUT)
 (左側: USB AUDIO 入力、右側: USB AUDIO 出力)
 - USB 端子(②)から、-30 dBFS 以上の信号が入力されると、 左側のインジケーターが点灯します。 入力信号のレベルがピーク値(-3 dBu 以上)に達すると、 インジケーター(赤色)が点灯します。(*1) USB 接続している機器の音声出力レベルを下げてお使いください。
 - USB 端子(20)に音声信号が出力されると、右側のインジケーターが点灯します。
 出力信号のレベルがピーク値(-3 dBu以上)に達すると、インジケーター(赤色)が点灯します。(*1)
 本機のUSB出力レベル調節ボリューム(20)を下げてお使いください。

*1:入力、または出力回路に過度の負荷をかけている状態で、 長時間連続使用しないでください。その場合、故障の原因と なります。

フロントパネル-2



13 MEMORY スイッチ/インジケーター (A ~ D)

各スイッチに割り付けられたパターンメモリーを呼び出します。 A ~ D に割り付けられたパターンメモリーが呼び出されている ときにインジケーター (橙色) が点灯します。

- パターンを呼び出すには、MEMORY スイッチをインジケー ターの点滅が点灯に変わるまで、押し続けます。
 (点灯する前に MEMORY スイッチから手を離すと、パターン は呼び出されません。)
- 各スイッチへのパターンメモリー設定は、TASCAM MX-D CONNECT で行います。
 初期値では、MEMORY スイッチ (A ~ D) にパターン1~4が 設定してあります。

(パターン1~4の内容は、全て同じです。)

⑭ パターンメモリー名称表示部 (A ~ D)

A ~ D に割り付けられたパターンメモリーの名称を表示する 場所です。 ラベルテープなどで、ラベルシールを作成し、表示部に貼り付

けてご使用ください。

表示部のサイズは、幅18 mm ×高さ6 mm です。

(5) MONO INPUT フェーダー (1 ~ 8)

MONO INPUT1~8(30)から入力された信号を本機のマトリ クスミキサーに送る音量を調節します。

◆本体の操作で入力のマトリクスアサインを変更できます。
 詳細は、14ページ「MATRIX(マトリクス)」をご参照ください。

16 +48V ファンタム電源インジケーター

MONO INPUT1~8(30)に、ファンタム電源が供給されてい るときにインジケーターが点灯(赤)します。

 ファンタム電源のオン/オフは、TASCAM MX-D CONNECT 側から操作します。

- ⑦ STEREO INPUTS フェーダー (1~4)
 STEREO INPUT1~4(20)から入力された信号を本機のマトリ クスミキサーに送る音量を調節します。
- ⑧ 出力レベル調節フェーダー (OUT1、OUT2) リアパネルの OUTPUT1、2(③)の出力レベルを調節します。
- (9) USB 入力レベル調節ボリューム (USB INPUT)
 USB 接続している機器から本機への入力音量を調節します。
- ② USB 出力レベル調節ボリューム (USB OUTPUT)
 本機から USB 接続している機器への出力音量を調節します。
- ② USB 端子 (Type-C) / インジケーター
 USB Type-C の USB ポートです。
 USB ケーブル (Type-A Type-C、または Type-C Type-C)を使って、パソコンと接続します。
 48 kHz/24 bit、2 IN/2 OUT のオーディオインターフェースとして使用することができます

USB 接続を認識するとインジケーター (橙色) が点灯します。

- 本機は、Windows OS、macOSの標準ドライバーでオーディオ インターフェースを使用できます。専用ドライバーは不要です。
- 保護カバーを取り付けてあります。
 使用する場合は、カバーを外してからお使いください。

リアパネル



② ETHERNET 端子 / ネットワーク ステータス インジケーター イーサネット端子(*2)です。

ネットワーク接続し、TASCAM MX-D CONNECT から本機を制御 するのに使用します。



- リンクステータス/アクティビティインジケーター(緑色) 点灯は、機器間のリンクが確立されていることを示します。 点滅は、機器間の信号のやり取りを示します。
- 100 Mbps リンクステータスインジケーター(橙色) 点灯は、100 Mbps のイーサネットリンクが確立されてい ることを示します。
- 使用する LAN ケーブルについて カテゴリー 5e 以上の STP ケーブルをご使用ください。 クロスオーバー・ケーブル、ストレート・ケーブルのどちら でも使用できます。

② 動作モード切換えスイッチ

本機の動作モードを切換えるためのスイッチです。 電源オフの状態で動作モード切換えスイッチを以下のように 設定し、POWERスイッチを入れると設定された動作モードで 起動します。

	動作モード切換えスイッチ
通常モード	RESUME
初期化モード	

(初期設定:[通常モード(RESUME)])

初期化モードについては、18ページ「本体初期化設定」をご参照ください。

注意

- 必要なとき以外は、[通常モード(RESUME)]を選択してください。
 (初期化モードでは、TASCAM MX-D CONNECT で本機に設定した パラメーターも初期化されます。)
- 表にないスイッチの設定はしないでください。
 本機、または接続されている機器の故障の原因となります。
- •本機の電源を入れたままで、このスイッチの切換えを行わない でください。本機の故障の原因となります。

24 RS-485端子

外部コントローラー RC-W100を接続する端子 (*2) です。 本機を外部から制御することが可能です。

- 外部コントローラー RC-W100については、16ページ「外部コ ントローラーについて」をご参照ください。
- RS-485端子については、17ページ「外部コントローラー端子の接続(RS-485端子)」をご参照ください。

② REMOTE I/O 端子

D-Sub 25ピンの入出力制御信号、および外部電源制御信号の 接続端子です。

REMOTE I/O 端子については、17ページ「 REMOTE I/O 端子 の接続」をご参照ください。

26 SIGNAL GND 端子

システム配線時に、機器同士のシャーシアースをとる場合に使 用します。

注意

接地アース(保護接地)ではありませんので、不用意に接地すると ハム音などの原因になります。

② AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

28 STEREO INPUTS L/R (1~4) 端子 (UNBALANCED)

RCA ピンジャックタイプのステレオ・アナログ入力端子です。 CD、メモリープレーヤーなどのステレオ出力機器を接続します。

29 REC OUT L/R 端子 (UNBALANCED)

RCA ピンジャックタイプの録音用アナログ出力端子です。 メモリーレコーダーなどの録音用機器に接続します。

30 MONO INPUTS (1~8) 端子 (BALANCED)

ユーロブロックタイプのモノラル・アナログ入力端子です。 (信号名は、左から HOT、COLD、GND)

マイクなどのモノラル出力機器を接続します。
 MONO INPUT7、8端子は、TASCAM MX-D CONNECT を使用して、ステレオ入力として扱うことができます。
 ユーロブロックについては、17ページ「ユーロブロックプラグの接続について」をご参照ください。

③ OUTPUTS (1~4) 端子 (BALANCED)

ユーロブロックタイプのアナログ出力端子です。 パワーアンプなどに接続します。 (左から HOT、COLD、GND)

- 出力形式については、14ページ「OUT1・OUT2出力形式 選択 (MONO/STEREO)」をご参照ください。
- ユーロブロックについては、17ページ「ユーロブロックプラグの接続について」をご参照ください。

* 2 : 本機の ETHERNET 端子 (⑳)/RS-485端子 (⑳) のプロトコル 仕様については、TASCAM のウェブサイト (https://tascam. jp/jp/) からダウンロードすることができます。

外部機器を接続する

以下に、本機の接続例を示します。

接続前の注意

- 接続を行う前に、外部機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。
- 本機および接続する機器の電源を全てオフ、またはスタンバイ状態にします。
- 各機器の電源は、同一のラインから供給するように設置します。テーブルタップなどを使う場合は、電源電圧の変動が少なくなるように、 電流容量が大きい太いケーブルをご使用ください。
- オーディオ機器を接続する場合には、以下のフェーダーおよびボリュームを下げた状態で行ってください。 モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴覚障害の原因になる可能性があります。
 - MONO INPUT フェーダー (1~8) / STEREO INPUTS フェーダー (1~4) / 出力レベル調節フェーダー (OUT1、OUT2)
 - 出力レベル調節ボリューム (OUT 3、OUT 4) / USB 入力レベル調節ボリューム/ USB 出力レベル調節ボリューム



専用アプリケーション TASCAM MX-D CONNECT 使用して、本機の ミキサー機能を細かく設定をすることができます。

また、その設定された内容を本機の内蔵メモリーに書き込みます。 そのため次回電源をオンにした際も電源を切る前と同じ状態で使い 始めることができます。

TASCAM MX-D CONNECT について

TASCAM MX-D CONNECT を使って、本機をイーサネット経由で、 制御することができます。

詳細については、TASCAM のウェブサイト (https://tascam.jp/jp/) の TASCAM MX-D CONNECT の取扱説明書をご覧ください。

[TASCAM MX-D CONNECT の INPUT 画面]



ミキサー機能の概要

 ● MIC/LINE (初期値:[MIC]) MONO INPUT1~8 (⑳) にマイクを接続するか、 ラインレベルの機器を接続するかを選択します。 	MIC LINE MIC LINE
 ◆ +48V(初期値:[OFF]) MIC/LINEの選択で[MIC]を選択した場合、ファンタム電源[+48V]のオン/オフを設定できます。 ファンタム電源がオンのとき、本機のフロントパネルの+48Vファンタム電源インジケーター(⑥) が点灯(赤)します。 	+48V OFF +48V ON
 ● GAIN HIGH/LOW (初期値:[HIGH]) MIC/LINE の選択で [MIC] を選択した場合、[GAIN] の HIGH/LOW を設定できます。 GAIN が HIGH のとき、入力信号を約 [30 dB] 増幅 させることができます。 	GAIN HIGH GAIN LOW
● INPUT GAIN (初期値:[0.0 dB]) MIC/LINE の選択で[MIC]を選択した場合、入力 ゲインを調整します。 INPUT GAIN:0.0 dB ~+36.0 dB	INPUT GAIN 0.0 dB
● INPUT TRIM (初期値:[0.0 dB]) MIC/LINE の選択で[LINE]を選択した場合、入力 トリムを調整します。 INPUT TRIM:-10.0 dB~10.0 dB	INPUT TRIM 0.0 dB
 ● LINK OFF / ON (初期値:[OFF]) リンク機能をオンにすると、MONO INPUT 7、8 端子(30)をステレオ入力として扱うことができ ます。 ステレオリンク時は、LINE として機能します。 	LINK OFF

入力コンプレッサー調節

入力音量がスレッショルドレベルを超えた場合に、コンプレッサーが かかり(音量の変化幅を圧縮)、音量のバラつきを抑えます。 この機能は、MONO INPUT1~8(3)に搭載されています。 (初期値:[OFF])

[入力コンプレッサー設定画面]



• ON/OFF

コンプレッサーを有効 / 無効にします。

THRESHOLD

コンプレッサーをかけ始めるレベル(スレッショルドレベル)を 調節します。

RATIO

入力音量の圧縮率を設定します。

値が大きいほど圧縮率が高くなり、圧縮幅が増加します。

ATTACK

入力音量がスレッショルドレベルを超えた場合に、[RATIO] で 設定された圧縮率までに達するまでの時間を設定します。

RELEASE

入力音量がスレッショルドレベルより下がった後、圧縮が解除 され通常のレベルに戻るまでの時間を設定します。

• GR

ゲインリダクションメーター コンプレッサーのかかり具合を確認できます。

パラメーター	設定範囲	初期値
THRESHOLD	$-32\mathrm{dB}\sim0\mathrm{dB}$	0 dB
RATIO	1:1~∞:1	1:1
ATTACK	2 ms \sim 200 ms	2 ms
RELEASE	10 ms \sim 1000 ms	10 ms

入力イコライザー調節

特定の周波数帯域を増幅あるいは減衰させるエフェクターです。 使用するマイクの帯域のバランス調整や余分な帯域のピンポイント・ カットなどに使用します。 (初期値:[OFF])

モノラル入力

MONO INPUT1~8 (30)には、4バンドイコライザーが搭載されています。



• EQ:ON/OFF

入力イコライザーを有効 / 無効にします。

形式	パラメーター		設定範囲	初期値
нідн	G	ゲイン	$-15\mathrm{dB}$ \sim $+15\mathrm{dB}$	0 dB
ハイシェルビング	F	中心周波数	2 kHz \sim 18 kHz	10 kHz
	G	ゲイン	$-15\mathrm{dB}$ \sim $+15\mathrm{dB}$	0 dB
MID HIGH ピーキングタイプ	F	中心周波数	40 Hz \sim 18 kHz	2 kHz
	Q	帯域幅	0.5~12	0.7
	G	ゲイン	$-15 \mathrm{dB}$ \sim $+15 \mathrm{dB}$	0 dB
MID LOW ピーキングタイプ	F	中心周波数	40 Hz \sim 18 kHz	500 Hz
	Q	帯域幅	0.5~12	0.7
LOW	G	ゲイン	$-15 \mathrm{dB}$ \sim $+15 \mathrm{dB}$	0 dB
ローシェルビング	F	中心周波数	40 Hz \sim 2 kHz	100 Hz

ステレオ入力

STEREO INPUTS L/R1~4(20)には、2バンドイコライザーが搭載 されています。

[入力イコライザー(ステレオ)設定画面]



• EQ : ON/OFF

入力イコライザーを有効 / 無効にします。

形式	パラメーター		設定範囲	初期値
нідн	G	ゲイン	$-15\mathrm{dB}$ \sim $+15\mathrm{dB}$	0 dB
ハイシェルビング	F	中心周波数	2 kHz \sim 18 kHz	10 kHz
LOW	G	ゲイン	$-15\mathrm{dB}{\sim}+15\mathrm{dB}$	0 dB
ローシェルビング	F	中心周波数	40 Hz \sim 2 kHz	100 Hz

出力イコライザー調節

パワーアンプ、スピーカーシステム、音場などの特性に対応させる 出力イコライザーです。

(初期値:[OFF])

この機能は、OUTPUTS $1 \sim 4(3)$ に搭載されています。

[出力イコライザー設定画面]



● 6 バンドのイコライザーを出力系統ごとに搭載しています。

- 6 バンドを以下の形式から個別に選択できます。
- EQ : ON/OFF

出力イコライザーを有効 / 無効にします。	
	-

形式		パラメーター	設定範囲
	F	中心周波数	40 Hz \sim 18 kHz
P.EQ	G	ゲイン	$-15\mathrm{dB}$ \sim $+15\mathrm{dB}$
	Q	帯域幅	$0.5 \sim 12$
LCF ローカットフィルター	F	中心周波数	40 Hz \sim 18 kHz
SHV-L	F	中心周波数	40 Hz \sim 18 kHz
ローシェルビング	G	ゲイン	$-15\mathrm{dB}$ \sim $+15\mathrm{dB}$
SHV-H	F	中心周波数	40 Hz \sim 18 kHz
ハイシェルビング	G	ゲイン	$-15\mathrm{dB}$ \sim $+15\mathrm{dB}$
HCF ハイカットフィルター	F	中心周波数	40 Hz \sim 18 kHz

P.EQ の初期値

ゲイン	全て0.0dB
帯域幅	全て0.7
中心周波数1	40 Hz
中心周波数2	100 Hz
中心周波数3	500 Hz
中心周波数4	2 kHz
中心周波数5	5 kHz
中心周波数6	10 kHz

ハウリングサプレッサー (H.SUP)

自動計測を行うと、音場の残響特性、伝送特性など固有のハウリン グ周波数や抑圧レベルを分析して、プリセットフィルター(4バンド) を設定し、ハウリングを抑制します。 システム使用中にハウリングが発生すると、アクティブフィルター (2バンド)が自動的にハウリングを抑制します。 (初期値:[OFF]、プリセットフィルター未設定)

メモ

- ハウリングサプレッサーが [ON] の場合、プリセットフィルター 未設定でもアクティブフィルターは、動作しますので正弦波や テストトーンなどを使用される場合は、[OFF] にしてください。
- 自動計測を行う際は、マイクとスピーカーの距離を5m以上 離して、無音の状態で行なってください。
- 自動計測は、専用アプリケーション TASCAM MX-D CONNECT でも行うことができます。
- ハウリングサプレッサーの自動計測手順

アプリと接続されているときは、本体操作による自動計測がで きません。アプリから操作して行ってください。 十分な効果を得るために、自動計測は実際に使用する環境と同 じ状態(各種ミキサー設定、スピーカーやマイクの位置)で行っ てください。

- 1. 本機の出力音量を調節する
- OUTPUT1、2(③)の出力レベル調節フェーダー(③)を[8] の位置に設定します。
- OUTPUT3、4(③)の出力レベル調節ボリューム(⑪)を3時 の位置に設定します。
- MONO INPUT (1~8) フェーダー((1)) を[8]の位置に設定 する
- 本機に接続したパワーアンプの出力音量を調節する マイクで声を出しながら、パワーアンプの出力音量を少しず つ上げ、必要な音量になるよう調節してください。

メモ

パワーアンプの出力音量を必要な音量に調節後、マイクの前で 大きく "パン"と手をたたいて、ハウリングが発生しないこと を確認してください。

- MONO INPUT (1~8) フェーダー(⑤)を[0]の位置に設定 する
- 5. 自動計測を行う
- ◆ 本機の操作部の MEMORY スイッチ(⑬)の "A"、"C"、"D" を 同時に2秒以上押します。
- MEMORY スイッチ (⑬) のインジケーター "A"、"C"、"D" が 点灯し、自動計測が始まります。
- 自動計測が終了すると、MEMORY スイッチの各インジケー ターは、元の点灯状態にもどります。

自動計測中にエラーになった場合

- MEMORY スイッチ(⑬)のインジケーター "A"、"B"、"C"、"D" の全てが点灯した場合は、計測エラーです。
- 計測エラーになった場合は、マイクの向き、スピーカーの向き、 パワーアンプの出力音量などを再度調節し、**手順1.**からやり直 してください。

注意

拡声レベルが極端に上がっていたり、マイクとスピーカーが接 近しすぎていると、本機のハウリングサプレッサーの自動計測 が正確に行えない場合があります。

MATRIX(マトリクス)

本機は、12 × 4のアナログ音声入出力をマトリクスで組むことが可能です。

各出力 (OUT1~4) に対して、アサインする入力 (MONO INPUTS1 ~8、STEREO INPUT1~4) を選択・設定します。

メモ

- USB IN はアナログ入力同様、OUT4系統すべてとマトリクスを 組むことが可能です。
- REC OUT、USB OUT は、OUT4系統のいずれかとバスを共用します。
- REC OUT、USB OUT から出力される信号は、選択した OUTPUTS1~4(③)の信号を加算したものが出力されます。
- (初期値:OUT1~4は、全て[ON]、REC OUT および USB OUT は、 OUT1のみ [ON])

[MATRIX 画面]



アナウンスミューティング (A.MUTING)

本機能は、ダッキングの動作をします。

指定した MONO INPUT1~8(30)に信号(音声など)を入力すると、 同じ出力系統にアサインされている STEREO INPUT 信号の音量を 自動的にミューティング(減衰)させ、目的のアナウンスを明瞭に 放送することができます。

指定した MONO INPUT1~8(⑩)の信号がなくなると、自動的に STEREO INPUT1~4(⑫)信号の音量が元に戻ります。

- ミューティングレベル アナウンスミューティングで、減衰させるレベルを設定します。
 設定範囲:-∞~-3dB(初期値:-18dB)
- ミューティングホールド時間 ミューティング(減衰)を解除するまでの時間を設定します。 設定範囲:0.1、0.5~5.0(0.5秒刻み)(初期値:2.0秒)

ミュージックミューティング (M.MUTING)

指定した **STEREO INPUT**1~4 (⑳) に信号 (音楽など)を入力する と、同じ出力系統にアサインされている他の **STEREO INPUT** に入 力されていた信号を自動的にミュート (消音)します。 複数のチャンネルを ON にしたときは、チャンネル番号の小さい方 が優先されます。

指定した STEREO INPUT1~4(20)の信号がなくなると、ミュートされていた信号は自動的に元の音量に戻ります。

- ミュージックミューティングを起動する STEREO INPUT1~4(20) を指定します。
- ミューティングホールド時間
 ミューティング(減衰)を解除するまでの時間を設定します。
 設定範囲:0.1、0.5~5.0(0.5秒刻み)(初期値:2.0秒)

メモ

ステレオリンク時の MONO INPUT7/8は、アナウンスミュー ティングおよびミュージックミューティングの対象外です。

ディレイ調節

出力チャンネルの信号の遅延を調節します。

サブスピーカーへの出力信号をメインスピーカーの出力に対し時間 の遅れを発生させ、音像を前面に定位させるなどのディレイ時間を 設定します。

端子	設定範囲とステップ	初期値
OUT1~4	0 ∼ 300 msec、 1 msec Step	0 msec

OUT1・OUT2出力形式選択 (MONO/STEREO)

OUT1、および OUT2の出力形式をモノラル、またはステレオに 指定します。

● ス テ レ オ で 使 用 す る 場 合 は、OUT1A ま た は OUT2A に Lch(左)、OUT1B または OUT2B に Rch(右) が出力されます。 (初期値:[STEREO])

A / B バランス (OUTPUT1、2の各 A/B)

OUT1A/1BとOUT2A/2Bの、出力信号のバランスを設定できます。

端子	設定範囲	初期値	
OUT1、OUT2	A 50 \sim C \sim B 50	С	

オシレーター

チャンネル毎にテスト信号を出力できます。 スピーカーの調節など利用できます。 テスト信号は正弦波、ホワイトノイズ、ピンクノイズを選択できます。 テスト信号の種類は、全ての出力に共通です。

出力毎に、異なる設定にはできません。

パラメーター	設定範囲	初期値
ТҮРЕ	Off、 Pink Noise、White Noise、 Sine Wave	Sine Wave
FREQUENCY (*)	100 Hz、1 kHz、10 kHz、 18 kHz	1 kHz
LEVEL	$-36\mathrm{dB}\sim0\mathrm{dB}$	–20 dB

* **TYPE** で [Sine Wave] を選択したときに **FREQUENCY** が選択 できます。

出力コンプレッサー

突発的な過大出力による歪みを防ぎ、アンプ、スピーカーなどを保 護します。

(初期値:[OFF])

[出力コンプレッサー設定画面]



• COMP : ON/OFF

コンプレッサーを有効 / 無効にします。

THRESHOLD

コンプレッサーをかけ始めるレベル(スレッショルドレベル)を 調節します。

RATIO

入力音量の圧縮率を設定します。

値が大きいほど圧縮率が高くなり、圧縮幅が増加します。

ATTACK

入力音量がスレッショルドレベルを超えた場合に、[RATIO] で 設定された圧縮率までに達するまでの時間を設定します。

RELEASE

入力音量がスレッショルドレベルより下がった後、圧縮が解除 され通常のレベルに戻るまでの時間を設定します。

• GR

ゲインリダクションメーター

コンプレッサーのかかり具合を確認できます。

パラメーター	設定範囲	初期値
THRESHOLD	$-32\mathrm{dB}\sim0\mathrm{dB}$	–10 dB
RATIO	1:1~∞:1	2.5:1
ATTACK	2 ms ~ 200 ms	30 ms
RELEASE	10 ms \sim 1000 ms	230 ms

パターンメモリー

使用目的に応じたミキサー設定を1つのパターンとして、最大16パ ターンまで本体内に記憶できます。 16パターンの中から、任意の4パターンを MEMORY スイッチ(⑬) を使って、呼び出すことができます。 下記の項目は、パターンメモリーには保存されません。

- MEMORY スイッチ (⑬) のパターンメモリー割り付け設定
- 外部コントローラーシステムの有効/無効設定
- ネットワーク設定

外部コントローラーについて

RC-W100は、本機および TASCAM 対応機種で使用可能な壁埋め込み型プログラマブルコントローラです。

各出力のミックスバランス調整などが、**TASCAM MX-D CONNECT** を 介さずに、RC-W100のボタンやツマミで簡単に行うことができます。

使用方法

コントローラー本体の設定および接続

RC-W100本体の ID を設定する

 RC-W100本体の接続端子面のディップスイッチのスイッチ1~3 を以下のように組み合わせて、1~8のIDを設定します。



1	2	3	4
1 2 3	1 2 3	1 2 3	1 2 3
5	6	7	8
1 2 3	1 2 3		

 終端となる RC-W100本体のターミネーション(終端)を設定 します。



- RC-W100を1台で接続する場合は、そのRC-W100本体の ディップスイッチ4を[ON] 側に設定します。
- 複数の RC-W100をデイジーチェーンで、接続する場合は、 ターミネーション(終端)となる RC-W100のディップスイッ チ 4を [ON] 側に設定します。
 その他の RC-W100のディップスイッチ 4は、[OFF] 側に設定

その他の RC-W 100のディックスイッテ 4は、[OFF] 側に設た します。

本機と RC-W100を接続する

本機の RS-485 端子と RC-W 100の RS-485 端子をカテゴリー 5 e 以 上のケーブルで接続します。

(RC-W100の2つある RS-485 端子のどちらに接続しても構いません。)

メモ

複数の RC-W 100をデイジーチェーンで接続 (最大8台)する場合 は、RC-W 100の ID を重複しないように設定してください。

●本機とRC-W100を2台以上接続する場合

複数の RC-W100を接続して使用する場合は、RC-W100同士を RS-485端子でデイジーチェーン接続します。

- ターミネーション(終端)となる RC-W100のディップスイッチ4
 を[ON]側に設定します。
- その他の RC-W100のディップスイッチ 4は、[OFF] 側に設定 します。
- 最大8台まで接続可能。
- 本機からターミネーション(終端)のRC-W100までの合計ケーブル長は、最長200mです。

TASCAM MX-D1606



REMOTE I/O 端子の接続

D-Sub 25ピンのリモートコントロール用 REMOTE I/O 端子 (25) です。

● 接続ワイヤーには、AWG 24サイズの撚り線をご使用ください。 ケーブル長は最大50 m です。

ピン割り当て				
Pin No.	信号名		Pin No.	信号名
1,2	GND		22,23	GND
3~10	リモートイン[1~8]		24	リレー HOT
11~13 GND			25	リレーCOLD
$14 \sim 21$	リモートアウト[1~8]			

- Pin No. 3~10のリモートイン端子[1~8](パターンメモリー切換 制御)とGNDを短絡すると、リモート入力端子項目で割り付けら れたパターンメモリーに切り換わります。 タイマー制御による自動放送や制御信号に対応した放送パター ン自動選択システムなどに利用できます。
- Pin No. 14~21 のリモートアウト端子 [1~8](外部出力制御)は、 リモートアウト端子項目で設定された状態が出力されます。
- 出力仕様は、オープンコレクターです。
 [ON] のとき GND、[OFF] のとき OPEN が出力されます。
 (最大電圧 = 35 V、最大許容電流 = 30 mA)
- Pin No. 24 [リレー HOT] 端子、Pin No. 25 [リレー COLD] 端子は、 外部電源制御用端子です。

TASCAM AV-P シリーズなど、外部制御に対応したパワーディス トリビューターを制御することができます。

接続は下図をご覧ください。(接続可能台数は、最大で1台です。)



外部コントローラー端子の接続(RS-485端子)

外部コントローラー RC-W 100用 RS-485端子 (24) です。

● 接続には、カテゴリー 5e 以上のケーブルを使用してください。



● 上図は、端子の正面より見た図になります。

RS-485ピン割り当て				
Pin No.	信号名		Pin No.	信号名
1	B (TD+)		5	GND
2	A (TD–)		6	NC
3	NC		7	NC
4	DC24V		8	GND

メモ

RS-485端子には、誤ってイーサネットの LAN ケーブルを差し込まないようにする カバーを取り付けてあります。 使用する際は、カバーを外してからお使 いください。



ユーロブロックプラグの接続について

ユーロブロックプラグへの配線は、下記の手順で行ってください。 **1.** ユーロブロックプラグの端子ネジを緩めます。

メモ

マイナスドライバーの先端の幅が2.5 mm 以下のドライバーを ご使用ください。

2. ケーブルを差し込みます。

メモ

付属するユーロブロックプラグに適合するケーブルは、AWG 16 ~ AWG 28です。適合範囲内のケーブルを使用し、ケーブルの被 覆を約7 mm 剥いてからユーロブロックプラグに差し込んでく ださい。

3. ユーロブロックプラグの端子ネジを締め付けます。

メモ

- ケーブルを引っ張って、抜けないことを確認してください。
- **4.** 付属のケーブルバンドを使用して、ケーブルをユーロブロック プラブのタブ部に固定します。
- ユーロブロック配線図



● ユーロブロック端子のピン配列図

A B	<u>+ - m</u> + - m
Ē	

 \blacksquare : Hot, \blacksquare : Cold, \boxdot : GND

第7章 トラブルシューティング/本体初期化設定

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。 それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。

トラブルシューティング

電源が入らない

● 電源プラグがしっかりと差し込まれているかを確認してください。

音が出ない

● モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、 アンプの音量を確認してください。

信号が発振する

 ● メモリーレコーダーなどで、REC OUT L/R 端子(20)と STEREO INPUTS L/R (1 ~ 4) 端子(20)を同時に接続すると、信号がルー プして発振します。
 その場合は、TASCAM MX-D CONNECT からマトリクスの設定で、 入力端子の録音系統へのアサインをオフにしてご使用ください。

POWER インジケーターが点滅している

- ●早い点滅(0.2秒周期)をしている場合は、本体の初期化中、 ファームウェア書き込み中、またはファイル転送中です。 点滅が終わるまでお待ちください。 点滅中は、絶対に本機の電源を切らないでください。
- その他のパターンや周期で点滅している場合は本機内部でエ ラーが発生しています。電源を入れなおしても再び同様の現象 が発生する場合は、お買い上げ店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

フェーダー、つまみを動かしても音量が変化しない

- フロントパネルの LOCK スイッチ (⑨) がオンになっている場合、LOCK スイッチ (⑨) をオフにしてください。
- TASCAM MX-D CONNECT で、フェーダーの F.LINK (フェーダー リンク)機能がオフになっているかを確認してください。

RC-W100でステレオ入力の音量操作ができない

● 対象のステレオ入力の F.LINK (フェーダーリンク)機能がオン になっている場合、ステレオ入力の音量を RC-W100から操作す るには F.LINK 機能をオフにする必要があります。

RC-W100でソースを切替後、すぐにボリュームを操作すると 切替前のソースの音量が変わることがある

 ●ボリューム調整は、ソースセレクトボタンを押して1~2秒 おいてから行ってください。

USB オーディオインターフェースを使用した際に、音切れや ノイズが発生する

パソコンの負荷が原因で、音切れやノイズが発生します。 下記にパソコンの負荷を軽減させる方法をご紹介いたします。

- 無線LANやアンチウイルスソフトなどの常駐ソフトがバック グラウンドで動作している場合は、定期的な負荷がかかり、音 切れやノイズの原因となります。
 その場合は無線LANの通信を停止する、またはアンチウイル スソフトなどの常駐ソフトを停止後して、お試しください。
- お使いのオーディオアプリケーションにてバッファーサイズ (レイテンシー)の設定を大きくすることをお試しください。 (Windowsのみ)

メモ

オーディオアプリケーション側で、パソコンへの負荷を減らす 方法については、オーディオアプリケーションのメーカー様に お問い合わせください。

3. パソコンをオーディオ処理に適した設定に変更してください。

[Windows の場合]

● パフォーマンスオプション

- 1. ご使用の OS に適した設定方法で、<システム>を開きます。
- 2. <システムの詳細設定>をクリックします。
- くシステムのプロパティ>画面の<詳細設定>タブで、 くパフォーマンス>枠の<設定>をクリックします。
- <パフォーマンスオプション>画面の<視覚効果>タブで、
 <パフォーマンスを優先する>を選択します。

● 電源オプション

- ご使用の OS に適した設定方法で<コントロールパネル>を開きます。
- 2. <ハードウェアとサウンド>をクリックします。
- 3. <電源オプション>をクリックします。
- 4. <電源プランの選択>で、<高パフォーマンス>を選択します。

メモ

項目が表示されていない場合は、<追加のプランを表示>の プルダウンボタンを選択して表示します。もしくは、<電源プ ランの作成>をクリックしてください。

[Mac の場合]

- アップルメニューより<システム環境設定>画面を開き、
 <省エネルギー>を選択します。
- **2.** <コンピュータのスリープ>を<しない>に設定します。
- **3.** <ディスプレイのスリープ>を<しない>に設定します。

メモ

macOS のバージョン、または Mac によっては、この設定がな い場合があります。

USB ポートの差し替えてください。
 USB ポートによっては、本機が正常に動作しない場合がありますので、パソコン本体の別の USB ポートに接続してください。

メモ

- その他の USB 機器は、接続せずにお試しください。 (USB キーボード/ USB マウスは、接続しても構いません)
- USB ハブはご使用にならず、必ずパソコン本体の(オンボードの) USB ポートに接続してください。

本体初期化設定

専用アプリケーションで変更した各種設定情報を、以下の手順で工 場出荷時の状態に戻すことができます。

注意

初期化中は、絶対に電源をオフにしないでください。本機の故 障の原因となります。

- 1. 本機の電源をオフにします。
- 動作モード切換えスイッチ (23)を [初期化モード (INITIALIZE)] に設定します。
- 本機の電源をオンにします。 初期化中は、POWER インジケーター(②)が点滅します。
- **4.** 初期化が終了するとPOWERインジケーター(②)が点灯します。
- 5. 本機の電源をオフにします。
- **6.** 動作モード切換えスイッチを[通常モード(**RESUME**)]に戻し ます。

	動作モード切換えスイッチ
通常モード	RESUME
初期化モード	

アナログオーディオ入出力

MIC/LINE 入力 (MONO INPUTS 1-8チャンネル) : ユーロブロック (バランス) 3.81 mm ピッチ コネクター MIC 選択時 最大入力レベル :-21.5 dBu (GAIN: HIGH、INPUT GAIN 最小) :+6.2 dBu (GAIN:LOW、INPUT GAIN 最小) 最小入力レベル :-57.5 dBu (GAIN: HIGH、INPUT GAIN 最大) :-29.8 dBu (GAIN:LOW、INPUT GAIN 最大) 入力インピーダンス :2.4kΩ以上 ファンタム電源 :+48V供給可能 ゲイン LOW - HIGH 可変範囲:約30 dB LINE 選択時 :+24.0dBu 最大入力レベル 規定入力レベル :+4.0dBu 入力インピーダンス :10kΩ以上 LINE 入力 (STEREO INPUTS 1-4チャンネル) コネクター : RCA ピンジャック (アンバランス) 最大入力レベル :+6.0 dBV 規定入力レベル :-10.0 dBV 入力インピーダンス :10 k Ω以上 LINE 出力 (OUTPUTS1-4チャンネル) コネクター : ユーロブロック (バランス) 3.81 mm ピッチ :+24.0 dBu 最大出力レベル 規定出力レベル :+4.0 dBu 出力インピーダンス :110 Ω以下 REC OUT 出力 コネクター : RCA ピンジャック (アンバランス) 最大出力レベル :+6.0 dBV 規定出力レベル :-10.0 dBV 出力インピーダンス :110Ω以下 0 dBu = 0.775 Vrms 0 dBV = 1 Vrms

デジタルオーディオ入出力

USB オーディオ	
コネクター	: USB Type-C
規格	: USB2.0 HIGH SPEED (480 Mbps)
入力数	: 2 ch
出力数	: 2 ch
サンプリング周波数	: 48 kHz
ビット深度	: 24 bit

コントロール入出力

ETHERNET(制御用)	
コネクター	: RJ-45
Ethernet 規格	: 100 BASE-TX
プロトコル	: TCP/IP
ケーブル	: カテゴリー 5e 以上の STP ケーブル
REMOTE I/O	
コネクター	: D-sub 25 ピン プラグ インチネジ
入力回路	: プルアップ
出力回路	:オープンコレクタ
耐圧	: 35 V
最大電流	: 30 mA
RS-485 (RC-W100用)	
コネクター	: RJ-45
規格	: RS-485
ケーブル	: カテゴリー 5 e 以上の STP ケーブル

オーディオ性能

マイクアンプ EIN (入力換算雑音) - 126 dBu 以下 (MIC 入力 → LINE 出力、GAIN 最大、入力インピーダンス 150 Ω、 22 kHz LPF+A、JEITA)
周波数特性
20 Hz ~20 kHz ±0.5 dB
(MIC/LINE 入力 → LINE 出力、GAIN 最小、JEITA)
ダイナミックレンジ
100 dB 以上
(MIC/LINE 入力 → LINE 出力、GAIN 最小、22 kHz +A、JEITA)
歪率
0.009%以下
(MIC/LINE 入力 → LINE 出力、GAIN 最小、 - 6 dBFs、 JEITA)
クロストーク
100 dB 以上
(MIC/LINE 入力 → LINE 出力、GAIN 最小、1 kHz サイン波、
JEITA)
IEITA : JEITA CP-2150 準拠

設定用ソフトウェア OS 動作条件

対応 OS	: Windows 11 64 bit	
	: Windows 10 64 bit	
CPU	: Intel® 第3世代 Core ™プロセッサー以降の	
	Coreiシリーズ	
メモリー	:8GB以上	
ディスクの空き容量 : 150 MB 以上の空きが必要		
画面解像度/色数	: 1280 × 720ドット以上	
	True Color (32 bit) 推奨	

一般

電源	:AC100V、50/60Hz	
消費電力	:21 W	
外形寸法 (突起部を含まず)		
	: 482 mm × 132.5 mm × 181.5 mm (幅 x 高さ x 奥行き)	
質量	: 5.5 kg	
動作温度	:5°C~40°C	

第9章 寸法図/レベルダイヤグラム/ブロックダイヤグラム

寸法図





● 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

● 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

第9章 寸法図/レベルダイヤグラム/ブロックダイヤグラム





ブロックダイヤグラム



22 TASCAM MX-D1606

無料修理規定

X

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった 正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、 ティアック修理センターが無料修理致します。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご 提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販 売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場 合の送付方法については、事前にティアック修理センター にお問い合わせください。無償修理の対象は、お客様が日 本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定さ れます。
- 3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依 頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡く ださい。
- 4. 次の場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 - (1)ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障およ び損傷
 - (2)お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および 損傷
 - (3)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異 常電圧による故障および損傷
 - (4) 接続しているほかの機器に起因する故障および損傷

(5)業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使 用された場合の故障および損傷 ≫--

- (6)メンテナンス
- (7)本書の提示がない場合
- (8)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記 入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管 してください。

修理メモ

* この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

ティアック株式会社 〒 206- 8530 東京都多摩市落合 1-47 この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは				
タスカムカスタマーサポート 〒 206- 8530 東京都多摩市落合 1-47				
● 電話	042- 356- 9137	携帯電話・PHS・IP電話から		
● ナビダイヤル	0570- 000- 809	一般電話から		
● FAX 受付時間は、10:00~	042- 356- 9185 - 12: 00 / 13: 00 ~ 17: 00 です。(土・	・日・祝日・弊社指定休日を除く)		
故障・修理や保守についてのお問い合わせは ティアック修理センター 〒 358-0026 埼玉県入間市小谷田 858				
● 電話	04- 2901- 1033	携帯電話・PHS・IP電話から		
● ナビダイヤル	0570- 000- 501	一般電話から		
● FAX 受付時間は、9: 30 ~	04- 2901- 1036 12: 00 / 13: 00 ~ 17: 00 です。(土・	日・祝日・弊社指定休日を除く)		
■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。				

Printed in China

0723.MA-3700B

